



Optimist East Japan championship 28-30 July 2017 Hayama

リビエラカップ 第35回 東日本OP級セーリング選手権大会

主催：日本オプティミストディンギー協会 (JODA)

後援：葉山町・葉山町教育委員会・逗子市・逗子市教育委員会・神奈川県・神奈川県教育委員会・神奈川新聞社

協賛：株式会社リビエラリゾート・株式会社フォーシーズ・One Sails Japan

協力：JODA 加盟 東日本水域 各ジュニアヨットクラブ

公式日程：2017年7月28日(金)～30日(日)

開催地：神奈川県三浦郡葉山町 葉山港 及び 森戸沖海面

大会役員：大会名誉会長 渡邊 昇 ((株)リビエラリゾート代表取締役会長)

大会会長：浅野 秀則 (JODA 会長)

レース委員長： A：菅野 輝郎 B：須河内 利明

プロテスト委員長：川北 達也 計測委員長：宇田川 真帆 実行委員長：山田 耕充

大会構成：① A クラス105艇 を2つのフリートに分け 8レース を行う。捨てレースは 5～6で1カット、7～8で2カット。

初日 および2日目を予選シリーズとし、3日目をゴールド/シルバー フリートに分けた決勝シリーズとする。

② B クラス 24艇 にできるだけたくさんのレースを行う。捨てレースは 5レースごとに1カット。



：今年から IODAのロゴが変わりました。

7月/28日 (金)

Arrival
Registration &
Measurement
Race 1 - 2
Opening
Ceremony

DAY 1



初日の朝は早い。

7時には もう沢山の人が集まっている。

7:30 計測員ミーティング、 8:00 計測受付を開始する。

計測受付のシステム

東日本選手権は OP協会主催の 公式レース。セーリング競技には各種の規則を満たさねばならず、RRS 第6章 参加と資格 も含まれる。

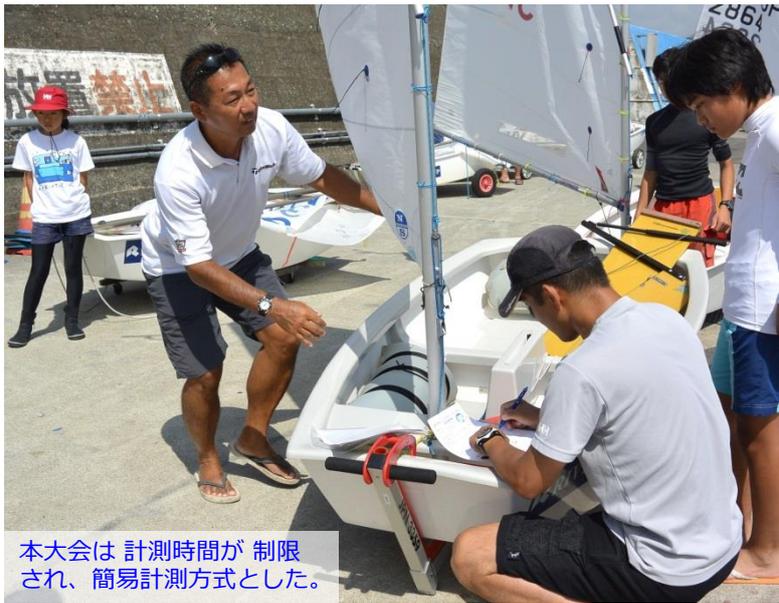
① JSAF会員証の確認 (規則 75.1 (c))。

本年 4月1日より、JSAFは 会員カードを発行しなくなり、各自がネットから画像を入手する事となった。慣れれば何でもない事だが、切り替わり時の混乱で入手しない選手があり、若干の提示できない選手には、事情を斟酌して 今回に限り 厳重注意で済ませた。

② クラス規則に従うこと、証明書 (規則 78)

選手は 使用艇の装備には そのシリアルNo. 等を計測用紙に記入して該当する計測証明書を 受付に提示しなければならない。

■ 受付は ① ② を 計測用紙の記入と照合して有効な場合は 認め印を押す。計測員は この印のない 計測用紙の艇は 計測を行わない。



本大会は 計測時間が 制限され、簡易計測方式とした。

大会初日の日程は、 8:00 大会受付、計測開始。 12:00 開会式 13:25 第1R スタート予告信号。 2レースを予定。 片付け後 逗子マリーナに移動。 19:00 ~ 懇親会。 とギッシリ詰まる。



富松 選手から相談が入る。

では ② を 満たさない 選手にはどうすべきか？ まさか「本大会には参加できないので、どうぞお引取り下さい。」などとは言えまい。そこでこの場で基本計測をしてクラス規則に適應している事を確認し、証明書を再発行する手法を取る。左写真のマストはシリアル番号が読める状態ではなかったので再計測/再発行を行った。新しい番号は、OP協会が独自に発行するものを 貼りつけるのである。 → このような事例がブームにも1件。証明書を紛失した、センター・ラダーにも対応し 計 4件の証明 を行った。



計測



ウィンドウに貼られた過去 (左) のステッカー 全日本 福岡大会のもの。 ←



セール → スタンプに変わる ステッカー 伝統的な 大会限定使用を意味するセールスタンプは、ステッカーになりました。長所：インク補充、押し方などの技術が不要で、計測員が手分けで貼り時間短縮。短所：多く貼り残ると視界不良となる。対策→ 過去のシールは無効です。記念の意味以外はありません。選手の任意で剥がすかどうかを選択してください。

レース前計測では、全105艇の735装備を検査し、12:00 開会式開始に対して 11:45を終了目標としましたが、11:00にはほぼ完了。恒例の記念（証拠？）写真を撮りました。

開会式



歴代の名選手の親達も、ボランティアとして駆けつけました。頭が下がります。

Say cheese!



大谷副社長様 ご挨拶

スキッパーズミーティング

今、季節の旬は 夢の島 YC。今年の全日本開催、ワールドに 駿君を送るなどが話題。レース委員長としても、このクラブの指導者、菅野氏が選ばれました。

彼の采配 如何によりレースのイメージは決定されます。明るくてサバサバした彼の持ち味には、好感が持たれます。



菅野 輝郎
レース委員長

Race 1 Yellow fleet 4 minutes before the first start.



風の強さにも、夏の暑さにもマケナイ、丈夫な体を持った 少年少女 105艇がここに集い、2つのフリートに別れて3日間 戦い続ける。

Yellow fleet was just started with all clear.



ジュニア 若い易く、勝利成り難し。1-2年前に活躍した選手達の多くは既に去り、替りに 無名選手の功名が 全国に名を馳せる事になる。



“東日本”は2017年OP選手達が克明に描かれた夏を飾る一幅の絵であり、東日本水域の夏の風物詩でもある。

Race 1 Red fleet



42条違反 取締りチーム



彼らがいなければ、このレースの海は無法者であふれる。

Red fleet Start



赤Fleetもオールクリアでスタート

Finish!

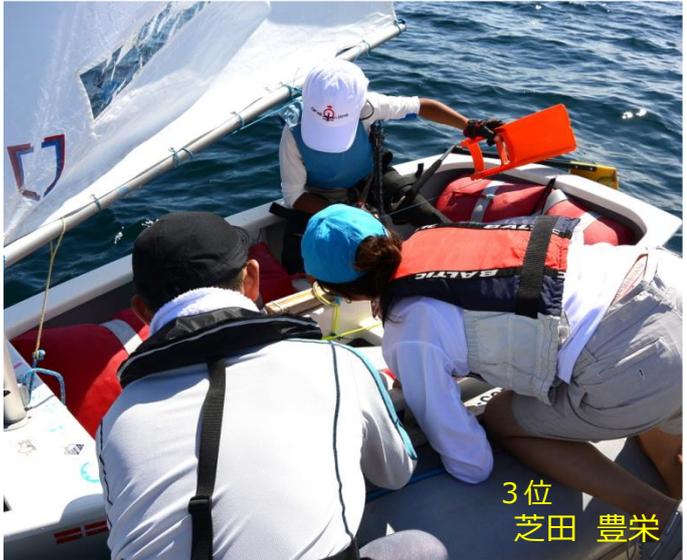


1位 重松 駿



2位 池田 海人

R 1は 風向80° 風速8knot Yellow スタート13:30:00
 Top finish まで40分39秒(目標50分)のRaceだった。
 3位の豊栄は海上計測でパドルがハイレに結ばれておらず、10%(5.4点)のペナルティを受けた。
 タラレバは良くないが、最終で31.4点9位だったの



3位 芝田 豊栄

で、5.4点を引くと26点となり、6位入賞となる可能性があった。安全規定違反の洗礼を受けた選手は、以後海上計測に強くなり、失敗を繰り返さないのがOPだ。
 一方、Redはスタート13:37:00 Top finish まで40分44秒(目標50分)でYellowとは5秒差で互角のRaceだった。1位 岩永 燎汰、2位 菅澤 虎士朗、3位 芝田 和尚(中2)。芝田兄弟は期せずしてYellow/Redに別れて同じ3位を取った事になる。なお、この兄弟(弟は小6)は最終で兄7位、弟9位と成績優秀、かろうじて兄はプライドを保った。

Race 2

Yellow fleet

スカリング 牽制

14:47 にスタート。風向100° と変わるも、風速 8 knot と変わらず、こんな軽風に多いのがスカリング、ジュリーは微に入り細に入りチェックし 目星をつける。スタート前の1分間は 選手を最も束縛するタイミングなので、緊急でない限り笛



を控える。スタート直後、選手達が 行動の自由を得たのに合わせて笛を吹く。吹かれた選手は、非権利艇なので、他艇を避けながら 2回ターン をしなけ



ればならず、至難の業なのだが、ジュリーの厳密な目で 回転不足と認定され、DSQ (失格) となった 3360。右写真はフィニッシュ直後に ジュリーから説明を受けている。ジュリーの考え方を理解する事が 次のレースへの 糧となる。



Race 2 Yellow fleet

Race 2 Red fleet

風が落ち 鏡のような海面に影が映る。Top フィニッシュまで59分40秒もかかってしまう。Top艇はR1では3着だった 3209 豊栄(江の島)、絶好調である。2位は 3201 和知 健太郎(江の島)、3位は 3114 白石 尚也(横浜市民) 4位 3132 千葉 歓汰朗(江の島) 5位 3367 遠藤 貫太郎(浜名湖) と続く。遠方は Red fleet、風が落ちたので、まだ時間がかかる。



3041 はレース半ばにして 何故かリタイア、フィニッシュ艇に RET 報告をしている。

Yellow fleet 15:46:40
Finish!





黄F 4位
歓汰朗

Red fleet Finish!

Red fleet はTop フィニッシュまで1時間と40秒もかかってしまった。1位は 3288 虎士朗(江の島)、これで 暫定1位を決めた。2位は 3248 和尚(江の島)、3位は 3157 東道 すす(江の島) 4位 3095 師尾 しおり(江の島) 5位 3357 鷲尾 青と江の島 オンパレードが続く。6位は かるうじて 葉山の 3358 後藤 凜子がくいこんだ。



師尾 しおり 赤F 4着
SP + 5.4 = 9.4点



後藤 凜子



一日の終りを意味する

A P
A旗

team 葉山 御用艇



懇親会 選手マリーナ

葉山港から車で移動 19:00~ 開宴される。大会で食べる ピザーラの美味しさはまた格別です。お腹と OP とピザとは深〜い縁があるのです。

初日の上位成績

1. 菅澤 虎士朗 3288
2. 芝田 和尚 3248
3. 和知 健太郎 3201
4. 東道 すす 3157
5. 芝田 豊永 3209
6. 重松 駿 3176
7. 鷲尾 青 3357

8. 池田 海人 3211
9. 高橋 果乃子 3347
10. 後藤 凜子 3358
11. 鈴木 風雅 3294
12. 尾崎 健人 3305
13. 出口 愛海 3366
14. 佐藤 真心 3227
15. 黒田 研一郎 3149

7月 (土)
 /29日
 Race 3-6
 Day
 2



香港からオープン参加の Sean Liu 君、彼の積極的なセーリングはその順位はともかく、見習うべき所がある。



宮本 あかり



風が
ありま
せーん。

吉浦 弘太朗

今日は カメラ視線を 川北さんをお願いしてジュリー艇に移しました。計測艇や メディア艇よりも 選手により近づく事ができるためです。



クラス旗
ダウン!!

ブォ〜ン

弘太朗 (9位)

青 (6位)

↑
海入 (1位)

和尚 (3位)

Race 3

果乃子 (8位)

9:41 にスタート。風向200° 風速 4-5knot でスタートできるギリギリの風だ。 選手の () は着順を表わす。

Yellow fleet start !!

Race 3

Red fleet

Yellow fleet がスタートすると、すぐに次発の Red fleet がスタートラインに並ぶ。5分前を示す クラス旗 (赤色旗) が揚がる。準備信号は4分が揚がる。過去は P旗 や



富永 晏吏 (27位)

蜂須賀 啓介 (11位)

I 旗が多かったが国際OP協会の方針で数年前からU旗が基本となる。I 旗よりは厳しく、黒色旗ほどは厳しくはない。サドンデス (1分前にラインから出ていれば即失格) なのは黒色旗と同じだが、ゼネリコ後は黒旗 →再スタートできない、U旗 →再スタート OK の違いがありこれは選手にとってありがたい。



スタート寸前 出ている艇を次々と読み上げる。それらの艇は全て失格だ！しかし…

蜂須賀 啓介



重松 駿 (2位)

関根 巧 (31位)

岩永 燎汰 (1位)

岡田 爽良 (14位)

中島 拓海 (15位)

第1代表旗 準備

ゼネリコは「赤信号、みんなで渡れば怖くない」とはならない。ラインから出なかった艇を全部確認できるのならば、出艇表からUFD (U旗規制違反) を割り出せるからご用心ご用心。

もう読めないゼネリコ。

第1代表旗



← すぐに次の予告信号出ている選手は命拾いをする。

← 香港311 Sean は本部船にピッタリと寄り添う。
↓ 9:57 Red fleet スタート！ ポートに伸ばす艇団。

UFD ありでスタート



川北 百華 (42位)

鈴木 風雅 (7位)

鷺尾 空 (5位)

師尾 しおり (13位)

江角 嘉一 (45位)

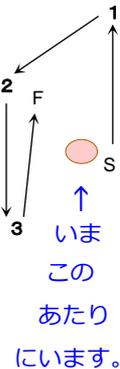
上條 久美子 (34位)

村田 慈英 (46着 UFD 55位)

白石 尚也 (43着 UFD 55位)

池田 ももか (21位)

富永 晏吏





赤フリート、海面はご覧の通り、カームと軽風の 両域がある 難しいコンディション、
1マークのトップ回航は 鷲尾 空 (小5)、 駿 (中1) 健太郎 (中1) と続く。

Race 3 Red fleet turns around the mark 1.



この顔、これから数年活躍するから覚えてね。
2943 岡田 海洋ミヒロ (小4)。ライジャケは
交換品なのだろうか？ 2009年 IODAアフリカ
選手権での南アフリカteam のもの、カッコいい。



東堂 すす 4 番乗り、この大会で1番活躍した。

1マーク 回航順位

- Red 3262
- 3176
- 3201
- 3157
- 3226
- 3335
- 3338
- 3366
- 3294
- 3316
- 3139
- 2900



ジュリー艇から見た 前方↑ と 後方↓ を撮影



赤と黄との交差点、海人の行先はトップホーン



3 マーク 回航順位

- Red 3226 ↑
- 3201 ↑
- 3335 ↑
- 3176 ↓
- 3262 ↓
- 3157 ↓
- 3338
- 3360 ↑
- 3366
- 3294
- 3209 ↑
- 3316 ↓
- 3139 ↓



1~2マークを
回り 3マークまで
微風の長い追風が続く、
集中力の勝負だ、順位は上の表
から下へと変動した。





最後のレグ

療汰 VS 健太郎 VS 駿のフィニッシュ対決はいかに。



タイトカバーを嫌い 健太郎別コースを取る。それを療汰は深追いをしない。そこへ



下マーク 4位の 駿がぐんぐんと追いついて2位に食い込んできた。ただついていけるだけで100%可能性はないが、へろへろな風をうまく自分のものにした。

1位と3位は計測を受ける。4位の慶次郎は7位から3艇を抜いてきた。空は1マークをトップで回航するも5位まで落ちたが、大崩れせずに良く持ちこたえた。



Race 3 が終わり Race 4 が始まる前に
 ジュリーの川北さんは
 3200 青木 滯 を呼び止める。



R3のスタートの時に。



彼女はスカリングを取られて 2回転を行った。

なぜ 違反を指摘したかを説明します。選手は自分が悪くないと思えば権利を主張して下さい。大切なコミュニケーションが生まれます。

Race 4 Yellow fleet



堂園 佑和 (中1) 横浜 R4 40位

竹澤 大樹 (中1) 市民 R4 46位

下位の選手はスタートも遠慮がちなのでつい応援したくなります。→



Race 4 Yellow Start 11:20

池田 航介 (小4) 江の島 R4 24位

荻沢 多朗 (小5) KMC R4 DNF



黄フリートの3分後
 赤フリートの予告信号が揚がる。

Race 4 Red fleet



江の島が かすんでて
 富士山は見えない今日の天気。
 セーリング日和とはいかないよね。

研一郎は もう中2になる。



1週間前までワールド/タイで
 貴重な経験を積んだ この2人。



梶山 真央 (中2) 江東 R4 7位



海人 (中2) 江の島
 は 危なげなく1マーク
 トップ回航を果たす。
 彼の OP 時代も残り
 少なくなってきた。





2番は 虎士朗 (小5)
海人と入れ替わるよ
うに これからの人、
先輩、大先輩の意志
を継ぎ 成長してね。



3番手は 頌子 (中1) 才能が有り 体型は OP向き
なので、現状より もっといい成績が取れる筈。



4番 春花 (小5) 江の島
R4 4位

5番 凜子 (中1) 葉山 R4 6位



6番 高橋 果乃子 (中2) 海陽
R4 13位

真央 R4 7位



真央

カトル

果乃子

2→3マークへ
フィニッシュ艇の
そばを通過する。



凜子



3マーク 2番 虎士朗

3番 頌子



カトル

増本 晴

果乃子

3マークでは
上位は 安泰。
中位では
下剋上、上剋下
が発生し 順位
の入れ替わりで
激しいバトルを
繰り広げる。
海面の 中央に
浮いているの
は赤潮。



浩輔

貴太郎

和尚

研一郎

優大

凜

弘太郎



戎 悠里 (中1) 江の島
R4 23位



川前 優太 (中1) 海陽
R4 12位



時計↑スタート後
53分5秒経過した

↑
大会
スタンプ



増本 晴 はフィニッシュへ
それ以外は 3マークに
向かっている。

燎汰
R4
4位

増本 晴
R4 11位

出口 美帆 (小5)
浜名湖 R4 36位

8分遅れの
赤フリートが
黄フリート後尾
に迫ってきた。

高山 聖二郎 (小5) RJカイト R4 44位



ヘスター 岡山 紗奈 (小6)
香港 R4 45位

竹澤 大樹 (中1) 市民
R4 42位



Yellow fleet R4 Finish!

頌子
2位

4位 春花

神木 宏斗 (中1)
藤沢 R4 20位



幸恋

Yellow

1. 海人
2. 頌子
3. 虎士朗
4. 春花
5. 青
6. 凜子
7. 真央
8. カトル
9. 和尚
- (捨て)
10. 研一郎
11. 晴
12. 優太



8位 カトル

7位 真央

風が落ち、トップ艇 フィニッシュまで 黄 55分21秒、赤 58分7秒
の長いレースとなった。黄フリートの 3212 と 3010 が トップ艇
フィニッシュ後15分以内の タイムリミットに引っかった。

レース終了は Yellow 12:30:21 Red 12:38:04

助け舟

Rescue boats

club coaches boats



レスキュー艇を和風で表現すれば「助け舟」艇がトラぶった時に助けるのは勿論ですが、セーリングがうまくなるように、ジュニアが海を通して人間的に成長する事を「助ける」意味もあります。まだ世の中や自然現象等がよく解らない不安定な世代にとって、心強い精神的なバグボーンとなるのが「お助け舟」です。選手達はヨットをなんとかうまく走らせようとして 悩み、心の痛手を受けたりもします。それは、自己を知る過程であり、大人へ道の始まりです。OPはレスキューと合わせて1セットなのです。





鉄本 アーロン (中1) 海陽



Race 5

Yellow fleet

ブオヘン

13:54:00 U旗 掲揚 スタート4分前



Start !!

(写真は 13:57:45 15秒前)

13:58:00 オールクリアでスタート、 風向190° 風速 5~6knt

ブオオヘン



葉山港 ハーバーマスター 大庭さんち 視察。



Red fleet

爽良

燎汰

潮音

ももか



燎汰と杉野 潮音は

本部船の際で 位置取り合戦

をしている。
艇を止めるのに舵を使うが、
中心を超えて左右に動くと
スカリングと取られる。



ピーッ!!



爽良



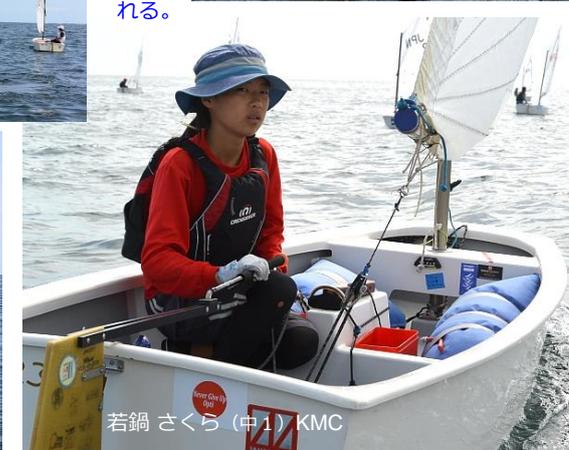
2回転



燎汰

爽良

潮音が2回転している間に
2艇はもう はるか彼方に。



若鍋 さくら (中1) KMC



Steven Chen (中1)

太田 タケル (中2) 三重



達也
葉山



スターボ
だよ。

中島 拓海 (小5) 横浜

尾崎 健人 (小5) 葉山



歓汰朗 (小6) 江の島



上條 久美子
(中1) 江東

← 駿 赤 fleet 1マークトップ回航

蜂須賀 晋之介の名前
を覚えていますか？
僕は その弟 啓介です。
長く沈黙していまし
たが、昨年からまた
ヨットに目覚めました。



怪しい写真
鷺尾 空の 頭の上に奇妙な
物体が写りこんでいた。↓
魚のようにも見えるが？
真っ白に抜けており怪奇。



啓介 (中1) なごや 豊栄 (小6) 雄帆 (中1)

豊栄、強引な割り込み、はたして割込ませてもらえるのか？

残念！ ヨットの世界はそう甘くはなかった。マークタッチのペナルティを行う。





風雅

真心

RC艇 2マーク兼フニッシュアウター
“ひよこ” 回航順位を記録中。



慶次郎



伊原 駿之介

荻沢多朗

Sean

野呂瀬 航

左近 麗咲子

竹澤 大樹

中島 拓海



白鳥 美和 (小5)



Red fleet R5
Finish!
1st
Shun

岡田 佳悟 黄F 45位



2位 燎汰 3位 雄帆 4位 歓汰朗 ↓

矢吹 優喜 黄F 46位

藤田 健太郎 黄F 47位



健太郎 慶次郎 海洋 ヘスター しおり 愛理 誠悟



しおり 愛理

Race 6 Yellow fleet Start



Girl's Battle!

R6 黄F スタートから
1マークまで



OPは男子だけのものではない。
Worldでも、全日本でも女子チャンピオンは多数いる。体の成長が男子も女子も同じくらいになるのがOP年令期。相手にとって不足はない。思い切りたかえ。





方ドル

海人



カトル
ミーティングでは瞬間風速 トップ。



春花



177

春花



頷子

太田 薫

園村 浩輔

青 川前 優太

和尚



春花



研一郎は
パンピング
するか？



2回目に備え記録する。



海のスポーツはスケールが大きい。



前半は黄F 後方は赤F、締めて105艇



昔は小さかった 鷺尾青 もいつの間にか (中2) ベテランの仲間入り、
← これくらいのアンヒールはお手の物、しっかりと成長した。



3マークはゲート、どちらを回ってもよい。この間隔が広すぎるとたびたび指摘された。今海人が回航中、2位はカトル、次は春花。春花がこの位置にいるとなぜかドキドキハラハラそして感動する。



頷子がジワジワと4位に上がってきた。



浩輔 (中3) YMFS

漣 (中1) 汪の島

優大 (中1) 海陽



綺音 (中1) 葉山

上位グループが過ぎた後には、中位集団がドカッと3マークに集合する。交通整理のために設けた2つ、綺音さんは大回りで不利となるのでスターボ側のマークに向かったが、あまりに遠いので、途中で引き返し、空いてきたポート側に戻った。



綺音



フィニッシュへのアプローチ、カトルには悔しいが、海人に大きく水をあげられる。



章駄天 頌子
カトルを抜き2位浮上

9時から海に出て、今16:30
海上で8時間、4レースの長い
1日もやがて 終幕を迎える。



R 6 結果 赤字は女子

- 黄 F 1.海人 2.頌子 3.カトル 4.晴 5.虎士朗 6.研一郎 7.春花 8.和尚 9.青 10.浩輔
 赤 F 1.駿 2.豊栄 3.雄帆 4.しおり 5.すず 6.愛海 7.風雅 8.真心 9.啓介 10.燎汰

105艇のうち男子73艇、女子32艇。男子は女子よりも3.3倍いるがトップ10位は約半々、これって女子の方が成績が良いってことかな？



7月 (日)
/30日

Race 7-8
Closing ceremony

Day 3



葉山港



巧

高輝



Bクラス スキッパーズ ミーティング

笑顔が ippai の B クラスは、本当の意味の '楽道家'。将来が輝いています。パルクヘッド M 編集長のお嬢さんも見えます。

Race 7

Final Series
Gold fleet

この日、カメラ視点は
ジュリー艇から 計測艇に戻り
レースシーンは撮れず 残念。



今年から始まった 予選決勝方式。国際大会では標準となっている。2日間で5レース以上を 従来通りで戦い、最悪の1レース1を捨てた成績順を2等分してゴールドとシルバーにフリート分けをする。もしも天候等で2日間に5レースを消化できない場合には、予選成績をもって最終とする。



9:20:00 All clear the Start 凜子、研一郎、海人、3145あかり、一步、貫太郎、そして駿。

Race 7

Final Series
Silver fleet



昨日とは真逆の 風向 50° 風速 6 ~ 8 kt



9:28:00 Started with UFD

Silver Fleet



若鍋 さくら 藤田 健太郎

星沢 俊

駿足を飛ばし、2位の海人に2分以上の差をつけて、今フィニッシュする 駿。



太田 薫



岡田 海洋



出口 美帆



R7 Gold fleet Finish !



2位 海人



4位 豊栄



3位 すず



えーっ！
また5位かよ。

(驚沢だよね)

虎士朗

僕は9位で
まあまあです。

風雅

トップクラスの3名

ただ今、ヨーロッパ 出張中！

宇田川 涼太郎、西村 拓真、服部 輝海、if 東日本→ 異状あり？

ベスト8の表彰が 東日本選手の 目標達成ライン。EURO 3名が参加してたら ひょっとして8名の賞の顔ぶれが変わっていたのかも？ と思うと、また タラ・レバが 頭を巡る。



ああ、僕が36位とは・・・ 和知 健太郎



また、富山の全中とも バッティングしてしまい 来ない人もいた。

R7 R8は 捨てレースにした選手が多かった。Goldに進んだ選手は、対戦相手が手ごわくなり、R7では54名中、32件の悪い順位を捨てに選び、R8では半分の27だった。



R7 Silver fleet Finish!

久美子

滉佑

志帆

朋花

1. 柄澤 朋花
2. 上条 久美子
3. 富松 志帆
4. 肥後 滉佑
5. 竹内 天悟
6. 白鳥 美和
7. 上野 誠悟
8. 矢吹 優喜
9. 渡辺 憧
10. 山守 ちひろ

1. 千葉ヨットビルダーズ	1. 3艇	1.
2. 夢の島ヨットクラブ	2. 2艇	2.
3. 江東区立小中学校セーリング部	3. 7艇	3. 4艇
4. 横浜ジュニアヨットクラブ	4. 6艇	4. 1艇
5. 横浜市民ヨットハーバーJYC	5. 6艇	5. 2艇
6. KMC横浜ジュニアヨットクラブ	6. 6艇	6.
7. 江の島ヨットクラブジュニア	7. 24艇	7. 6艇
8. 藤沢市青少年セーリングクラブ	8. 8艇	8.
9. 葉山町セーリング協会	9. 20艇	9. 7艇
10. YMFSジュニアヨットスクール葉山	10. 3艇	10. 3艇
11. 清水ヨット・スポーツ少年団	11. 3艇	11.
12. 静岡県セーリング連盟 浜名湖ジュニアクラブ	12. 5艇	12.
13. 海陽海洋クラブ	13. 6艇	13.
14. リスクマネジメントセーリングジュニア	14. 1艇	14.
15. なごやジュニアヨットクラブ	15. 2艇	15. 1艇
16. 三重県ヨット連盟 ジュニアユースヨットクラブ	16. 3艇	16.



美和

2981 計測
しまーず。

初めての計測

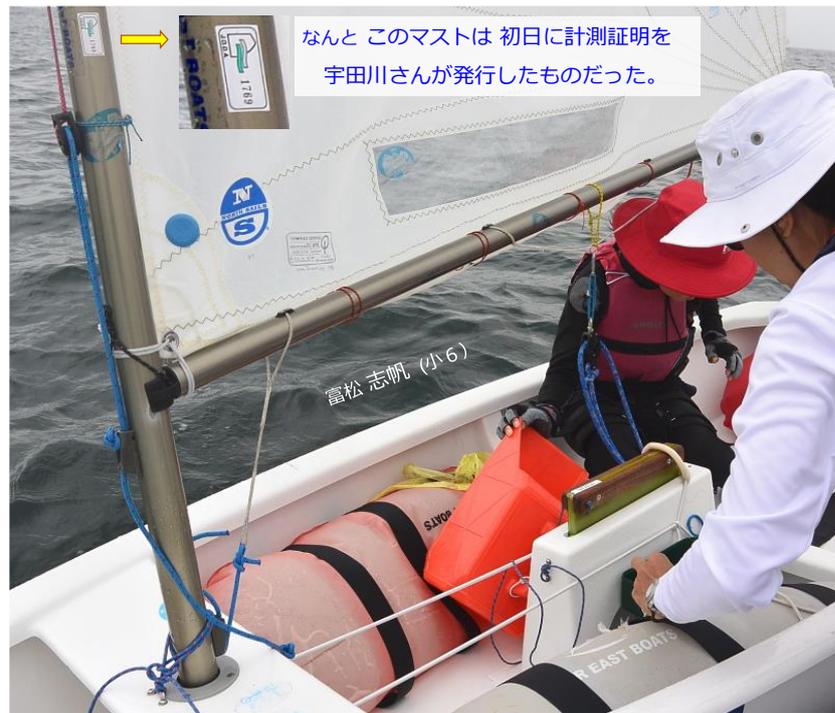
シルバー クラスを計測する事は今までになかった。
クラスの 安全規定は 基本なので いい事なのだろう。



美和



3306 をチェックした。



なんと このマストは 初日に計測証明を
宇田川さんが発行したものだっ。

富松 志帆 (小6)



望園 佑和

おつかれさん

ちょっとひと休み

3日間・全8レースの本大会もあと
残す所 1レースのみとなった。

選考会に続き 今回も 微風シリーズと
なったが、レース委員会運営の苦勞
もあり あまり風待ちも無く全レース

を 消化 出来そうなのは 有難い。

右上 最終レースを前に くつろぐ 藤沢の選手達。



増本 拓

竹内 天悟

下 海陽海洋は 今回 6選手が参加、昨年は下位だった選手たちは 今年には 中堅どころに

上って来たのが 嬉しい収穫と言える。
それにしても 本多さんが手にする
バナナは おいしそう。



上 レスキュー1 のクルー、積んでいるのは スタート エリアで
コーチ艇の接近を規制する マーシャルパイ。あと1レースで 任務
も終え、この大会を通じて 皆と知り合えた嬉しさの この笑顔。



左 何ごとか 思慮にふける 江角 嘉一 (中3)





3212は 上野誠悟、最後のレースに万全の調整をする。



左近 麗咲子 (小6)

Race 8 Final Series Gold fleet



帆七、駿、愛理、カトル、果乃子、拓海、海人、晴、虎士朗。

最後のスタートは攻めで押した 3209, 3316 3365 が UFDとなった。風向 35° 風速 8knt 風向は 安定せず。有力選手も 臨機 応変での下スタート。

Race 8 Final Series Silver fleet



11:03:00 シルバーフリートが最後のスタートを切る。

クラス分け についての 展望

OP 東西日本選手権は 上級、中級、初級の 誰でもが 出場できるのが 特徴だが、昨年までは 上級 中級は 最後まで 一緒のフリートだったが、今年からは 決勝シリーズの 2レースのみ 上級、中級が 分けられる事となった。改めて Gold/Silver を捉えて 観ると 力量の差が 歴然としているのが 判る。つまり Bクラスと Aクラスの間 (中級) の選手達だ、予選時では レベル差が 大きい為 に 微風レースで 4件の DNF (50分のレースで15分差) が あった。また、表彰については 昨年通りの NORなので、今年 は Aクラスの中に Gold, Silver が 分けられたことについては、Silverの表彰がないので、中級 (Silver)の英雄達は 表彰式と 大会記録では 目立たない存在 となってしまった。このレポートを 書いて、東日本の理念 (philosophy) の一つは 次世代の 啓蒙にあるの ではないか？ 次世代である 中級を より注目すべきであると 感じた。

遠方には8分前に出たゴールドが見える。



星沢 俊 空希 すみれ、真亮 誠悟 若生。



愛海 海人

R8 Gold fleet Finish!

11:37:27 最終レースのトップは 出口 愛海 3366 (中1) 浜名湖が 海人を抜いて 1位を飾り 2017年 東日本の夏 を 締めくくった。



フィニッシュを待つ



セーフ!!





2017 第35代 東日本選手権 勝利者
池田 海人!
Gold

その見事な戦績、
 ナショナルチームとしての誇り、過去から続く1位の多さ、礼儀正しく謙虚、どれをとってもこの大会の選手の集まりの中で彼を凌ぐ選手はいない。かつては先輩たちを尊敬していた本人が

今度は人から尊敬されるに値する人物となった。
 R1~R8までの成績を見ると **2-11-1-1-1-1-1-2-RET**,
 2日目の4レースオールトップは見事と言う他はない。

Gold fleet

最終成績	昨年
1. 池田 海人	3211 2
2. 重松 駿	3176 10
3. 菅澤 虎士朗	3288 25
4. 岩永 燎汰	3226 7
5. 東道 すず	3157 44
6. 和知 健太郎	3201 40
7. 芝田 和尚	3248 5
8. 大澤 雄帆	3168 8
9. 芝田 豊栄	3209 54
10. 鷲尾 青	3357 23
11. 出口 愛海	3366 27
12. 北原 頌子	3239 --
13. 葉山 カトル	3117 --
14. 増本 晴	3343 29
15. 高橋 果乃子	3347 24
16. 岡田 爽良	3335 16
17. 黒田 研一郎	3149 21
18. 鈴木 風雅	3294 --
19. 師尾 しおり	3095 --
20. 服部 春花	3120 83
21. 蜂須賀 啓介	3316 43
22. 後藤 凜子	3358 48
23. 桔川 慶次郎	3338 --
24. 川前 優太	3355 50
25. 遠藤 貫太郎	3367 72
26. 千葉 欽汰朗	3132 58
27. 梶山 真央	3292 65
28. 佐藤 真心	3227 35
29. 西田 帆七	2967 --
30. 園村 浩輔	3299 53
31. 宮本 あかり	3345 86
32. 内田 愛理	3370 47
33. 伊原 駿之介	3359 70
34. 太田 薫	2958 --
35. 青木 滯	3200 33
36. 尾崎 健人	3305 105
37. 鈴木 海翔	3320 18
38. Sean Liu	311 香港
39. 内田 幸恋	2900 --
40. 鷲尾 空	3262 99
41. 本多 剛	3022 B10
42. 西村 元	3151 49
43. 上田 瑞	3302 87
44. 星野 高輝	3297 17
45. 岡田 海洋	2943 B 2
46. 中島 拓海	3365 B 1
47. 出口 美帆	2859 --
48. 古田 一步	3139 --
49. 吉浦 弘太朗	3361 89
50. 神木 宏斗	3134 B 5
51. 関根 巧	3096 71
52. 市川 太陽	2902 26
53. 鉄本 アーロン	3171 92
54. 野呂瀬 航	3138 67



海翔を心配しています
 最近実力が出し切れていない。
 本人が一番気にしてると思けど、
 急に体が大きくなった反動
 なのかな？ 皆好調が
 戻ってくるのを待っています。



朋花と言う
花が咲いたよ

シルバー 優勝
おめでとう

R 8 Silver fleet Finish!

最後の1位
 フィニッシュ
 を Silver F 竹内 天悟 (中1)
 が締めくくった。



フィニッシュ艇も 錨を揚げてハーバーバック。

表彰式 閉会式

ようこそ 葉山へ 130艇、
果敢なレース展開を見せてくれました。学校の日常とはまた違った、海と言う別世界を体験し、海の習わしをOPと言う小さな船で会得し、小さいと言えども 大型艇と同じヨットの規則を駆使して戦い、海のスポートの だいご味 を追求しました。海は広くて大きくて 追及は果てしない。昨年 Bクラスで活躍した選手はたちは ・今はもう ゴールドや シルバーで 善戦しています。

Silver fleet

最終成績 昨年

55.	柄澤 朋花	3106	28
56.	白石 尚也	3114	--
57.	富永 遥希	2836	76
58.	青山 若生	2894	B 8
59.	竹内 天悟	3286	--
60.	肥後 滉佑	3304	103
61.	山守 ちひろ	3242	59
62.	上条 久美子	3285	B 18
63.	チャーチ 海	2892	B 16
64.	戒 悠里	3183	45
65.	Steven Chan	317	香港
66.	渡辺 憧	3041	--
67.	森 映心	2887	--
68.	富松 志帆	3306	106
69.	松岡 叶真	3291	--
70.	池田 ももか	3363	B 6
71.	重田 空希	3208	78
72.	池田 航介	3156	B 4
73.	村田 慈英	2614	--
74.	矢吹 優喜	3109	--
75.	古屋 音	2890	B 20
76.	窪田 啓汰	3125	--
77.	左近 綺音	3168	102
78.	浅野 蒼	2992	96
79.	太田 タケル	3324	56
80.	富永 晏史	3362	B 9
81.	杉野 潮音	2864	--
82.	増本 拓	3188	B 3
83.	吉川 朋志	3020	--
84.	岡田 圭悟	3180	--
85.	上野 誠悟	3212	--
86.	星沢 俊	2893	B 12
87.	白鳥 美和	2981	--
88.	土屋 颯策	2993	--
89.	遠藤 海之流	3085	--
90.	古屋 真亮	3169	94
91.	藤田 健太朗	3323	91
92.	関谷 圭弘	3258	68
93.	高山 聖二郎	3260	--
94.	堂園 佑和	3047	--
95.	ハタ 岡山 紗奈	318	香港
96.	江角 嘉一	3244	57
97.	若鍋 さくら	3231	104
98.	左近 麗咲子	3303	B 13
99.	川北 百華	3322	93
100.	竹澤 大樹	2858	--
101.	松岡 達也	2969	B 19
102.	若鍋 雄大	3124	--
103.	天田 朝陽	2970	--
104.	小山 すみれ	3241	B 11
105.	荻沢 多朗	3010	--



逗子市長 平井 竜一 様



各クラスの
チャンピオンには
ワンセール様から
ニューセールの
プレゼント。
大澤社長
太っ腹。



優勝
堤 悠人

Bクラスの部



葉山町長 山梨 崇仁 様



小学生の部

虎士朗 くん
このカップは君のものだよ。

優勝
菅澤 虎士朗



(株)リビエラリゾート
葉山港所長 大庭 秀夫 様

B クラス

最終成績 学年

1. 堤 悠人 3 4
2. 兒島 惟高 2978 3
3. 北浦 菜月 3289 6
4. 飯塚 竜士 2990 6
5. 中川 祐太 2940 6
6. 岩波 萌夏 180 4
7. 三谷 帆風 3006 4
8. 鈴木 しおん 332 4
9. 松原 啓悟 3175 6
10. 安田 颯志 3255 4
11. 鳥羽 信輝 2905 4
12. 武田 琢磨 320 3
13. Ted Liu 322 4
14. 佐藤 璃奈 2760 5
15. 三谷 帆澄 2608 4
16. 山口 瑛哲 2609 4
17. 岩波 将吾 150 2
18. 上田 凜花 2607 4
19. 山本 眞央 2766 4
20. 伊地知 寛幸 2868 3
21. 野口 瑛翔 2135 3
22. 結解 太郎 2139 3
23. 平井 あかり 2606 4
24. 栗崎 瑞季子 1120 4
25. 宮北 悠之介 2 5

小学生の部

- 優勝 虎士朗
 準優勝 燎汰
 3位 すず
 4位 豊栄
 5位 風雅
 6位 春花
 7位 歓汰朗
 8位 帆七



出せ街道 東の道を駕進中は東道 すず、2016年 東 44位 全日 68位。 続いて 芝田 豊栄 同、54位 69位から大きく飛躍した。

BEST 8 (強豪)



- 優勝 海人 準優勝 駿 3位 虎士朗 4位 燎汰 5位 すず 6位 健太郎

7位 和尚

東日本 3羽 カラス (海人、駿、虎士朗) そして 3度目の正直 (海人)

海人、駿 はワールド / タイ 帰り、虎士朗は北米 / カナダ 帰り、その興奮 冷めやらず、で 遠征に続く レースの様な 集中力を見せた。 3名の 得点は、8 / 74。 14 / 78。 14 / 24。タイの解消で 駿が 鼻の差で凌いだ、合計 得点では 虎士朗が 24点と、捨てが 5点×2 = 10点、海人66点より上の猛者 だった。彼と すず は まだ小5 と言うから 未恐ろしいし、期待が持続する。 2015年 2016年と 1点差の 2位に泣いた海人、3度目の正直でついに優勝 !!

8位 雄帆



編集後記

虎は 死んで皮を残し・・・ 人は 何を残す？

古い映画で恐縮ですが『007は2度死ぬ』と言うタイトルがありました。原文は "You Only Live Twice" 「貴方は2度生きる」。人は いったい何のために生まれてくるのでしょうか？ 父母 (又は神) から命をもらい、それをどうすればいいのでしょうか？ 自分が幸せになるためには 周りの人も幸せでなければならない。そして個人としての生きて 証明が欲しい。肉体が滅びた時に人は 一度死にます。しかし周りの人は 個人を覚えていて、皆の記憶や知識の中で もう一度 生きます。友人、知人、縁者、他人から 全て忘れ去られた時が、本当の意味で もう一度死ぬのです。では、生きている時に何をしたらいいのか？を問うのが 哲学です。例えば ヨット、東日本で 精一杯の セーリングして 自分の姿を 披露し、覚えてもらう。表彰は かりそめの 賞にしか過ぎません。親の役割の一つは、子に 名前を付けること。名は 単に 記号や 符号にしか過ぎませんが、それでも その子と共に 2度生き続けます。人の名は たとえ どんな名前でも 聞いたり 読んだりすると 神聖に感じます。人は死んで 「名」を残すために 精一杯生きるのだから。

2017. 08. 17 編集者 荒川 渡